

【ガイドライン】

「やまぐち型家庭教育支援チーム」の 立ち上げと取組について

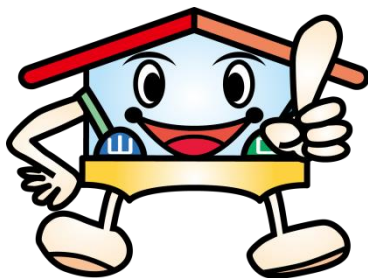


平成31年（2019年）3月

山口県教育庁社会教育・文化財課

目次

■はじめに ～ガイドラインの策定にあたって～	1
■「やまぐち型家庭教育支援チーム」とは？	2
■【取組事例Ⅰ】川下中学校区家庭教育支援チーム（チームほっとちゃん）…	4
■【取組事例Ⅱ】小野田中学校区家庭教育支援チーム	6
■チームの立ち上げや活動のポイント ～両中学校区の実践から～	8
■【情報提供】	
両中学校区の実践は、テレビ番組「はつらつ山口っ子」で紹介されました！	9



「家庭の元気応援キャンペーン」
マスコットキャラクター
ファミリン

はじめに ～ガイドライン策定にあたって～

少子化や核家族化の進行、地域のつながりの希薄化等により、家庭や子育てについての悩みや不安を抱えながらも、身近に相談できる相手がいないなど、家庭教育を支える環境が大きく変化しています。

このため、山口県教育委員会では、市町教育委員会と連携を図りながら地域における家庭教育支援体制の充実に向け、多様な地域人材で編成された家庭教育支援チームの設置を促進しています。現在、全市町に家庭教育支援チームが立ち上がり、保護者への学習機会の提供や親子参加型行事の開催などの取組を中心とする、多様な支援が行われています。

こうした中、子育てに不安や悩みをもつすべての家庭に支援を届けることや、学校と地域が連携・協働し、切れ目のないきめ細かな家庭教育支援が行われる体制づくりが新たな課題として浮き彫りとなりました。

そこで、「やまぐち型地域連携教育(注1)」の仕組みを生かし、中学校区で地域の実情に応じた支援や、学校等と日常的に連携・協働した支援をする「やまぐち型家庭教育支援チーム」の設置促進を図るため、チームを設置する際の手引き書として活用できるガイドラインを策定しました。

本ガイドラインは、今年度モデル校区として実践された川下中学校区、小野田中学校区の取組を中心に、チームの立ち上げから具体的な活動に至るまでのプロセス等を掲載しており、チーム設置・運営の指針となるものです。

本ガイドラインを参考に、今後、「やまぐち型家庭教育支援チーム」の取組が、県内各地でスタートし、家庭教育支援活動がより一層充実することを期待しています。

平成31年（2019年）3月

山口県教育庁社会教育・文化財課



(注1) やまぐち型地域連携教育：コミュニティ・スクールが核となり、地域協育ネット(注2)の仕組みを生かして各中学校区単位で地域のネットワークを形成し、社会総がかりで子どもたちの学びや育ちを支える取組

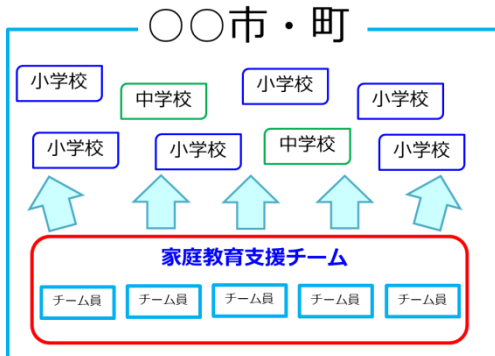
(注2) 地域協育ネット：概ね中学校区を一つの単位として、学校関係者や保護者、地域の社会教育団体、専門機関等とのネットワークを形成し、地域ぐるみで子どもたちの育ちや学びを支援する仕組み

「やまぐち型家庭教育支援チーム」とは？

「やまぐち型地域連携教育」の仕組みを生かし、概ね中学校区で学校等と連携しながら、地域の実情に応じた家庭教育支援活動を行うチームのことです。

これまでの家庭教育支援チームとの違い

【これまでのチーム（例）】

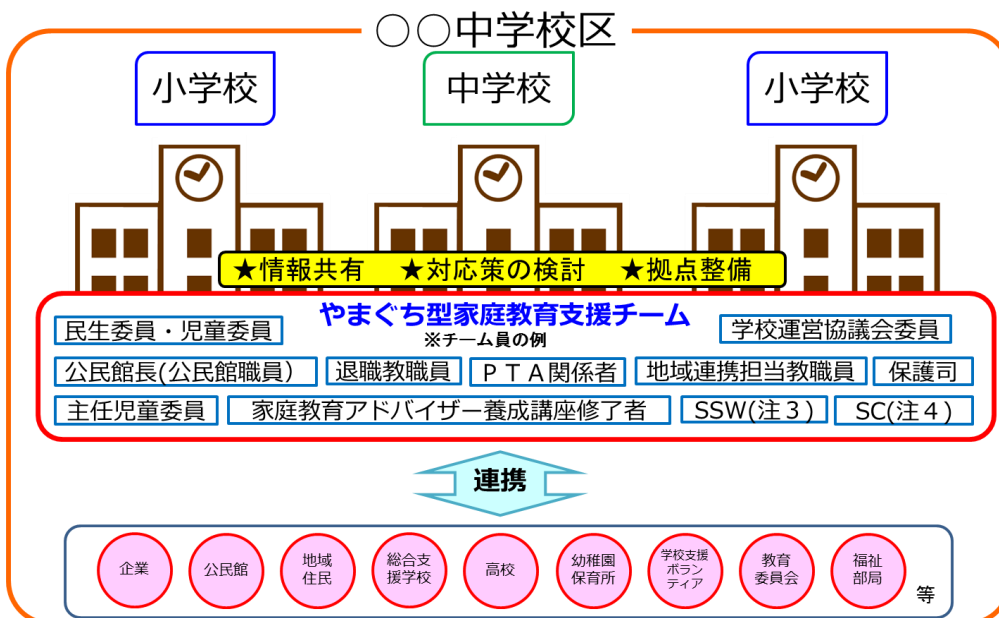


特定の学校や市町全域で保護者を支援

中学校区で支援活動を展開すると…

- ☆ 学校との連携により、家庭教育支援に関する情報をSSW(注3)、SC(注4)、教職員等から幅広く収集することができ、学校や保護者の実態やニーズに応じた支援が可能になる
- ☆ 未就学児の保護者や小・中学生の保護者等、保護者同士の縦横のつながりが広がる
- ☆ 中学校区の子どもの学びや育ちを地域全体で見守り支援する気運が醸成される
- ☆ 現在は支援を受けている人が、いずれは支援者として活動するという「循環型支援」にもつながる

【やまぐち型家庭教育支援チーム】



■ 概ね中学校区で学校等との連携による支援

■ 活動拠点を学校に置くと効果的

(注3) SSW：スクールソーシャルワーカー〔福祉に関して専門的な知識・技術を有するとともに、過去に教育や福祉の分野において、活動経験の実績等がある者（社会福祉士、精神保健福祉士等）〕

(注4) SC：スクールカウンセラー〔児童生徒の心理に関して高度に専門的な知識及び経験を有する者（臨床心理士等）〕

チームの立ち上げ（例）

※ 行政機関のリードがあれば、チームの立ち上げがスムーズになります。

課題の認識・共有

家庭教育支援に関する学校課題・地域課題の洗い出し

- 地域協育ネット協議会等で共有した「めざす子ども像」
- 学校課題・地域課題
- 保護者のニーズ など

当事者意識の高まり

合意形成

チーム立ち上げに向けた機運の高まり

立ち上げ準備

チーム立ち上げ準備会

- 参加者
中学校区学校運営協議会委員、中学校区教職員、統括コーディネーター(注5)〔地域学校協働活動推進員(注6)〕、公民館長（公民館職員）、教育委員会等行政職員 など
- 協議内容
 - ・ チームの趣旨、支援対象
 - ・ チーム員の選定、リーダーの決定
 - ・ 活動拠点（事務局の設置場所）
 - ・ 守秘義務等を記載した設置要綱の作成
 - ・ 年間計画案の作成 など

チーム員や関係機関との連絡調整

立ち上げ

第1回チーム連絡会議

- チーム員顔合わせ
- 設置要綱の確認（守秘義務等の確認、誓約書の提出）
- 年間計画の承認・確認
- 役割分担
- 支援内容の共有
- 直近の具体的な取組内容（サロンやイベントなど）の検討など

サロンやイベント等を行う時の手順（例）

- 1 【計画立案と事前準備】
目的、対象者、内容、会場（駐車場）、連携先（講師）、役割分担、準備物などについて
- 2 【当日（実践）】
会場準備（机配置・湯茶）、講師対応、駐車場案内（交通整理）、アンケートの準備など
- 3 【振り返り】
アンケート集計から（参加者による評価）、取組全体と役割の視点から（チーム員による評価）
- 4 【次年度の取組へ】
取組の見直し（年間計画への位置付け、スクラップ&ビルドなど）

(注5) 統括コーディネーター：中学校区における教育支援活動の総合的な調整役。本県では全中学校区に配置。

(注6) 地域学校協働活動推進員：地域住民等が学校と協働して行う活動が円滑かつ効果的に実施されるよう、地域住民等と学校との情報共有、地域住民等への助言等を行う者で、社会教育法に基づき、市町教育委員会から委嘱された者のこと。

**【取組事例Ⅰ】 地域協育ネット（あったかネット）を基盤に、
地域人材・教職員を中心に新規に立ち上げ**

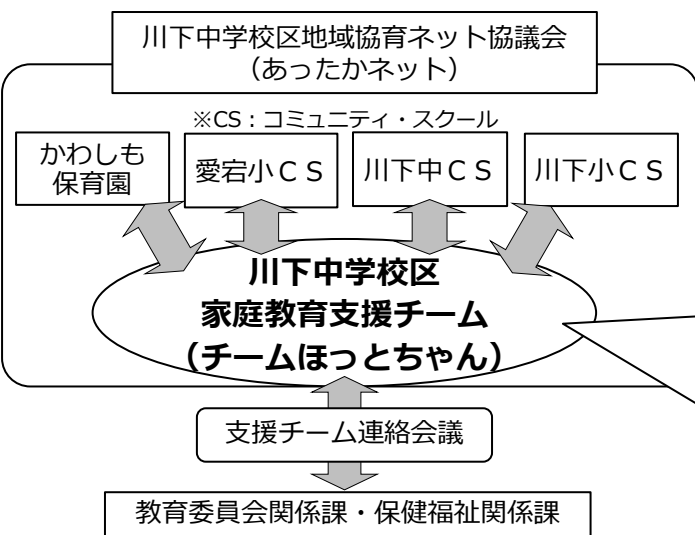
川下中学校区家庭教育支援チーム（チームほっとちゃん）

【取組テーマ】

- 学習機会の提供により、保護者と地域のつながりをつくる
- 中学生に「次の大人世代の学び」を提供し、素敵に大人に育てる



【取組の工夫】 教職員もチームに加わり、学校との連携力アップ！



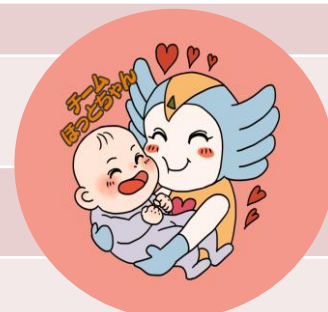
【チーム員(15名)】

- ・ 地域協育ネット協議会会長（学校運営協議会会長）
- ・ 主任児童委員
- ・ 保護司（学校運営協議会委員）
- ・ 岩国市環境福祉部こども支援課こども館館長
- ・ 教職員（校長、教頭、栄養教諭、司書教諭、養護教諭、教育相談担当、読書活動推進員）

【協力員(6名)：チームの活動を支えるメンバー】

- ・ 読書活動協力員
- ・ 岩国市母子保健推進協議会長
- ・ 岩国市家庭教育支援チーム員、人権擁護委員
- ・ 特別支援教育支援員
- ・ P T A 嘱託職員
- ・ 校務員

実施月	実施内容	
6月	・ チーム立ち上げのための準備会	
7月	・ 第1回チーム会議 ・ 性に関する教育講演会 ・ 第1回あったかサロン（2日間）	
8月	・ 保育園児とセミ捕り、読み聞かせの会 ・ 親子簡単朝ご飯料理教室	
9月	・ 第2回チーム会議 ・ 保育園児による体育祭予行練習見学 ・ けやき十六夜ジャズコンサート	
10月	・ 小学校と合同のあったかネット避難訓練 ・ 第3回チーム会議 ・ 大人のための合唱教室 ・ 保育園児による合唱練習見学 ・ 大人のための生け花教室	} セット開催
10月～11月	・ 中大連携：岩国短大保育講座 ・ デートDV防止講座 ・ 赤ちゃんふれあい体験 ・ 第4回チーム会議	} セット開催 ・ 2日間 ・ 3年生全クラスでの実施
12月	・ 第2回あったかサロン（2日間） ・ 親子クリスマススイーツ料理教室	
1月	・ 第5回チーム会議	
2月	・ 「メディアコントロールとよりよい生活習慣づくり」〔兼学校保健安全委員会〕 （給食試食会・県家庭の元気応援出前講座） ・ 大人のための箏教室	
3月(春分の日)	・ ペリースクール（米軍岩国基地内の小・中・高等学校）と協働したスカベンジャーハント	
通年(木曜日午前中)	・ 地域に開かれた学校図書館運営	



川下中学校区地域協育ネット協議会
「あったかネット」
イメージキャラクター
ほっとちゃん

立ち上げまで

チーム立ち上げ前の背景

- ・ コミュニティ・スクール、地域協育ネットの活動が活性化し、定着している。
- ・ 中学校区に米軍岩国基地があり、国際色豊かな地域性がある。
- ・ 各家庭のライフスタイルの変容により、多様な家族形態がある。
- ・ 不登校や様々な問題行動等、学校と家庭、地域が連携・協働して取り組むべき課題が多い。

- 地域協育ネットのつながりを生かし、課題を抱え孤立する保護者に寄り添い、支援する体制をつくりたい。
- 次の大人世代になる中学生に人権や食育・子育てに対する学びを提供し、より良い人間性を育むとともに、次世代の大人・保護者としての認識や心構えを育てたい。

【準備会の開催】

■ 準備会①（校長がチーム設置に係る構想を提案）

校長がイニシアティブをとり、地域協育ネット協議会、学校運営協議会、職員会議で提案

■ 準備会②（運営方法についての協議）

- ・ チーム員の選定：チームリーダー（校長）により個別に直接依頼
- ・ 会議のもち方：サロンやイベント開催時期に応じて設定、年間計画に位置付け
- ・ 教職員の負担にならないように配慮した運営方法
→ 会議は勤務時間内に済ませる、案内文書は発出しない、など
- ・ 持続可能な取組への工夫
- ・ 活動拠点の設定：川下中学校図書室を活動拠点に設定
→ 学校に活動拠点を置くことで、チーム員と教職員、保護者、地域等とのかかわりや情報共有が自然な形で行われることを想定
- ・ 設置要綱、年間計画、メンバー表の作成

具体的な活動



【保育園児による体育祭予行練習見学(9月)】
幼児とのかかわり（保育所と連携）

このほかにもセミ捕り、読み聞かせ、合唱練習見学等、様々な取組を連携して行い、異年齢のかかわりをつくっています。



【あったかサロン(7月、12月)】
悩みや不安を抱える保護者への相談対応

学校行事等、保護者が学校に集う機会に合わせて実施しました。



【けやき十六夜ジャズコンサート(9月)】
大人（保護者、地域住民）のつながりづくり

学校が地域の学びの拠点、集う場所として機能しています。



【中学生向け講座の開催(11月)】
赤ちゃんふれあい体験（子ども館との連携）

【中学生の声】
私は将来、保育士になりたいので、このような体験活動はとてもためになりました。



【親子クリスマススイーツ料理教室(12月)】
プロのパティシエの協力を得て親子でケーキ作りに挑戦！
校区の2つの小学校からも、親子で多数参加！

【保護者の声】
日頃、子どもと一緒に御菓子を作る機会はなかったので、とても良い経験をさせていただきました。

【取組事例Ⅱ】 山陽小野田市家庭教育支援チーム（既存のチーム）を母体として、小野田中学校区にエリアをしばって立ち上げ

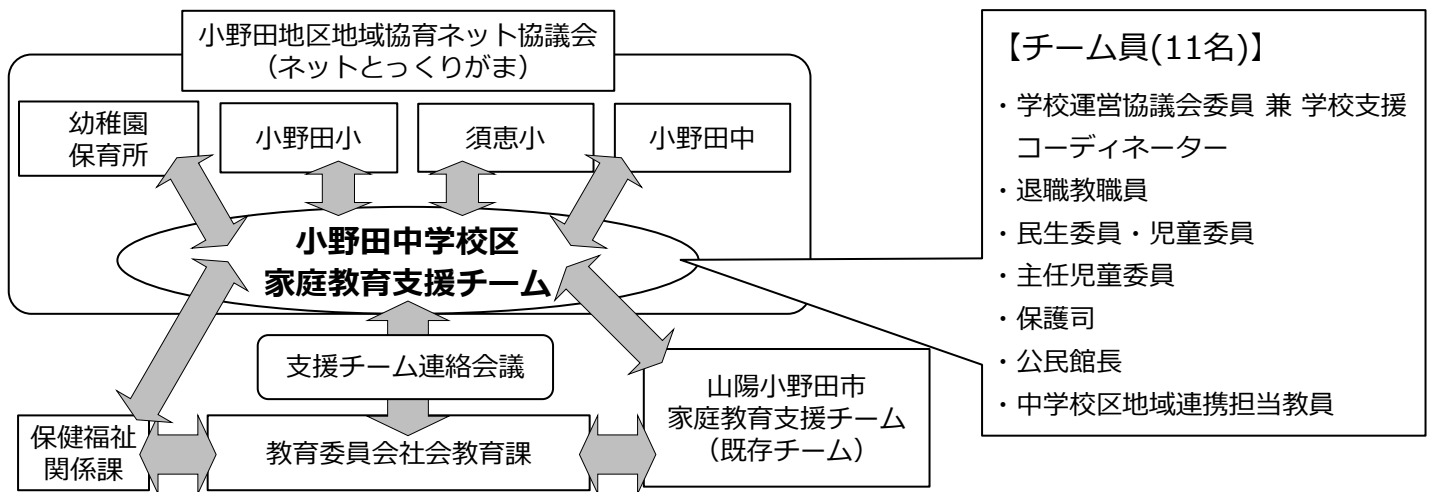
小野田中学校区家庭教育支援チーム

【取組テーマ】

- 小学校区ごとに行ってきたこれまでのチームの活動を中学校区に広げ、学校等との連携を生かして幼稚園・保育所・小学校・中学校の保護者のつながりをつくる

【取組の工夫】

保護者と地域の学びの場において多様なプログラムを提供することにより、「参加者の増加」と「つながりの強化」を図る



【チーム員(11名)】

- ・学校運営協議会委員 兼 学校支援コーディネーター
- ・退職教職員
- ・民生委員・児童委員
- ・主任児童委員
- ・保護司
- ・公民館長
- ・中学校区地域連携担当教員

実施月	内容
5月	・ チームプレ会議（チーム員顔合わせ、趣旨確認）
6月	・ 第1回チーム会議（年間活動計画等について） ・ 子育てサロン
7月	・ 子育てサロン（クラフトバンドの小物入れづくり） ・ 第2回チーム会議（活動内容等について）
8月	・ 子育てサロン with 小野田中学校生徒会（花瓶づくり） ・ 家庭教育研修会（山陽小野田市家庭教育支援チームとの合同研修会）
9月	・ 第3回チーム会議（親子活動について）
10月	・ 子育てサロン（おかたづけ講座） ・ 「親の学び」プログラムin小野田
11月	・ 子育てサロン（クリスマスリースづくり）
12月	・ 第4回チーム会議（リーフレット検討）
12月～1月	・ リーフレット作成
3月	・ 子育てサロン（バーバリウムづくり） ・ 第5回チーム会議（振り返り）



立ち上げまで

チーム立ち上げ前の背景

- ・ 市内全小学校へ出向き、各小学校の保護者に学習機会の提供を中心に行う家庭教育支援チームがあるが、支援の対象は各小学校の保護者であることから、保護者同士のかかわりは同一小学校内にとどまっている。



- 中学校区にエリアをしばった支援体制を整え、幼保小中の連携を生かして保護者同士の縦横のつながりをつくりたい。



【準備会の開催】

■ 準備会①（事務局がチーム立ち上げを提案）

事務局（社会教育課）が山陽小野田市家庭教育支援チーム（既存チーム）のリーダーへチームの設置を提案

■ 準備会②（チームの構想を協議）

事務局（社会教育課）とチームリーダーによるチーム構想の協議やチーム員の選定

■ 準備会③（チーム員顔合わせ、計画等の検討）

チーム員の顔合わせ会議：活動計画、内容等の検討、設置要綱の作成

→ 事務局は山陽小野田市教育委員会社会教育課に置き、活動や会議は学校や公民館で行うことに決定

具体的な活動

子育てサロンを中学校区で開催

小野田小学校で行っていた子育てサロンを中学校区の活動に拡大。小野田中学校、須恵小学校、近隣の幼稚園へも案内を配布し、3校の保護者のつながりを強化。

【子育てサロン】

- ・ 多様なプログラムを用意（クラフトバンドの小物入れづくり、花瓶づくり、クリスマスリースづくりなど）
- ・ 年間約6回開催
- ・ 小野田中学校生徒会と連携

【保護者の声】 中学校区の他の学校の保護者と知り合いになりました。上の子が中学校への入学を控えて少し不安でしたが、情報交換を通して様子を知ることができたので安心しました。



【クラフトバンドの小物入れづくり】



【ものづくりの後は…テーマをもとに子育てトーク】



【クリスマスリースづくり】

「親の学び」プログラム in 小野田の開催

中学校区の保護者を対象に「親の学びの場」を提供。その間、親と同伴の小学生の世話を中学生がボランティアで行い、同じ時間を過ごした。

【保護者の声】

中学校までを見通したこのような子育て支援イベントがあると、小学校だけでなく中学校の情報もキャッチできるので嬉しいです。

【中学生の声】

ボランティアとして、子ども達の世話ができるか不安だったけれど、ふれあう内にかかわり方がわかってきました。



【情報交換で不安や悩みの軽減】



【中学生によるボランティア】



チームの立ち上げや活動のポイント ～両中学校区の実践から～

チームに、こんな人がいてくれると心づよい！

■ S S W、S C、民生委員・児童委員、主任児童委員、保護司

家庭教育支援を進める際には、悩みや不安を抱える保護者や児童・生徒の相談対応についてのノウハウや専門的な知識がある S S W や S C、民生委員・児童委員、保護司等がチームに所属していると効果的です。

■ 学校管理職等（学校関係者）

学校課題に応じた家庭教育支援を推進するためには、学校（校長）の主体性を生かせるチーム体制が必要です。特に、学校管理職がチームに所属していれば、学校課題の改善に向けた支援をよりスピーディーに行うことが可能となり、チームの機動力もアップします。また、学校管理職のチーム加入は、個人情報管理する点においても有効です。

■ 公民館長（公民館職員）、学校運営協議会委員、統括コーディネーター

地域の力を生かした家庭教育支援を行っていくためには、公民館長や公民館職員、学校運営協議会委員等の地域のキーパーソンや、コーディネーターとしてのノウハウをもつ人材をチーム員に加えると効果的です。

※チーム員の選定は、学校や保護者、地域の実情に合わせて行うことが大切です。

持続可能な取組にするために

■ 教育課程に位置付けて持続可能な取組に

例えば、「赤ちゃんふれあい体験」や「デートDV防止講座」など、中学生を対象にした次の大人世代の育成を図る取組を、「特別の教科 道徳」や家庭科等の教育課程に位置付けると、継続的に実行できる取組になり効果的です。

■ PTAとの連携を進めて持続可能な取組に

先輩保護者（PTA OB等）から現役保護者に対して、「学びの場」の提供や相談対応を行うことで、保護者同士の縦横のゆるやかなつながりの中で支援する体制が整い、自立した継続的な取組となります。

サロンやイベントなどへの参加者数を増やすために

■ チームの周知と取組の質の向上を図る工夫を

チームの周知には学校だよりや地域の広報紙への掲載をはじめ、報道機関等を利用することもあります。取組の質の向上については、各イベント後など定期的に振り返りを行い、学校や保護者のニーズに沿った内容になるように心がけ、今後の活動に生かしています。

両中学校区を取組は、 テレビ番組「はつらつ山口っ子」で紹介されました！

学校・家庭・地域で育てる

はつらつ 山口っ子

(KRY山口放送)



【テーマ】

学校と連携した家庭教育支援

～「やまぐち型家庭教育支援チーム」の取組～

放送日 平成31年(2019年)2月17日 (再放送)3月17日



【小野田中学校区家庭教育支援チーム】



【川下中学校区家庭教育支援チーム】

両チームの取組の詳細は、「はつらつ山口っ子」DVDでも御覧になれます。
DVDは、市町生涯学習・社会教育主管課、または山口県教育庁社会教育・文化財課にお問い合わせいただければ貸し出しが可能です。

詳しくは、山口県教育庁社会教育・文化財課ホームページを御覧ください。



【お問合せ先】

山口県教育庁 社会教育・文化財課

家庭・地域教育班

〒753-8501 山口市滝町1-1

TEL:083-933-4661

FAX:083-933-4669



【ガイドライン】
「やまぐち型家庭教育支援チーム」の
立ち上げと取組について
(社会教育・文化財課
「家庭の元気応援キャンペーン」サイト)



「はつらつ山口っ子」
DVD貸出申込書様式
(社会教育・文化財課
「地域協育ネット」サイト)